



資源開発環境調査

モザンビーク共和国

República de Moçambique

(Republic of Mozambique)

目 次

1. 一般事情	1
2. 政治・経済概要	1
3. 鉱業概要	2
4. 鉱業行政	3
5. 鉱業関係機関	3
6. 投資環境	3
7. 地質・鉱床概要	3
8. 鉱山概要	4
9. 新規鉱山開発状況	5
10. 探査状況	5
11. 製錬所概要	5
12. わが国のこれまでの鉱業関係プロジェクト実施状況	5
資料（統計、法律、文献名、URL 等）	5

99年12月、内戦後2回目の地方選挙が行い、チサト大統領が再選し、国民議会は与党フレリモ133議席、野党117議席となり前回、両党の議席の差が17議席から1議席減少した。2003年に地方選挙、2004年に大統領選挙を行う予定。

2-5. 主要産業 農業(カシューナッツ、小麦、綿花、砂糖)
 鉱工業(アルミ)、漁業(えび)

2-6. GNI 36億米ドル 一人当たり 200米ドル (2002年世銀)

2-7. 通貨 メティカル/メティカイス (複数形) (MZM)

2-8. 為替レート 1US\$=18,286 (2005/02 現在)

年末	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年
1US\$ =	13,300.0	17,140.5	23,3204.0	23,854.3	23,782.3

(International Financial Statistics 2004)

2-8-1. 貿易 (2002年DOTS)

輸出 682 百万ドル

: アルミニウム、えび、カシューナッツ、電気、綿花、木材

輸入 1,269.7 百万ドル

: 機械、自動車、原油、繊維

対日貿易 (2003年JETRO)

輸出 1,382 万ドル : えび、木材

輸入 2,098 万ドル : 自動車・部品、鉄・非合金鋼、機械類

2-8-2. 経済概況

モザンビークは外国の援助に頼る部分が未だ多いが、近年の経済改革により目覚ましい発展を遂げている。補助金の削除や輸入規制の撤廃、輸入関税の簡素化、農作物の販売自由化などが効を奏し、銀行および国営企業の民営化プログラムも活性化の一助となっている。

3. 鉱業概要

モザンビークの鉱業はGDPの2%を占めているが、主要部門は金、ボーキサイト、グラファイトである。開発の検討されているプロジェクトとして、重砂鉱床、石炭、天然ガス、アルミ精錬、鉄鋼プラントがある。

モザンビークの鉱業は小規模鉱業が主体となっており、金、ダイヤモンドが採取されている。ベースメタルの調査は殆ど行なわれていないに等しい。

モザンビークの主要鉱物生産量

年	1998	1999	2000	2001	2002	2003
ボーキサイト(百万t)	0.01	0.01			0.01	0.01
金(t)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00e
タンタル (t)			10	11	19	75

資料: Raw Materials Data

4. 鉱業行政

4-1. 法律

・モザンビーク政府は外資導入の促進を行なっている。新鉱業政策は既存の法制度の下で実施されている。

・外資および大規模開発は個々のライセンス契約を行なう。

タイプ	期間 (年)	更新 (年)	金額\$/ha	備考
広域探査	1	非	0.1	非排他的大規模探査
排他的探査	4	2	1	更新毎に面積を半減
採掘	25	15	0.3	探査権者に申請権利がある

・所得税は 35%であるが、生産開始より 10 年間 50%減額が認められる。

・次の優遇制度がある。

- ・ 探査および開発経費の生産開始年までの繰り越し
- ・ 償却比率の選択
- ・ 機材の輸入税の免除
- ・ 配当の源泉徴収税（一般に 18%）の 10 年間の免除
- ・ 輸出に関連する販売税の免除

・ロイヤルティは、3%、ただし、貴金属は 5%、貴石は 6%、ダイヤモンドは 10%

5. 鉱業関係機関

5-1. 政府機関

鉱物資源エネルギー省 (Ministry of Mineral Resources and Energy) : 鉱業法の管理を行なう。

6. 投資環境

6-1. 外資法

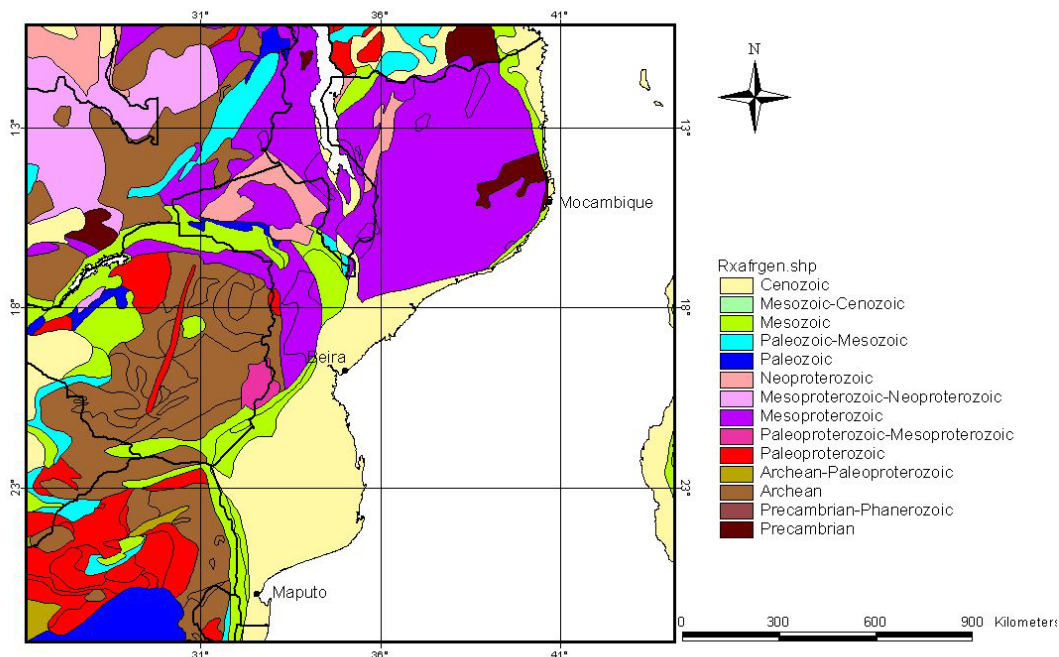
政府は外資導入に際し、次の点を保障している。

- ・投資を行なうための資本および融資の導入
- ・基金の外国送金
- ・解散および売却に伴う資本の本国送金

7. 地質・鉱床概要

7-1. 地質

モザンビークの地質は非常に変化に富んでおり、主としてプレカンブリアンの岩石で構成され、南部はジュラシックより第三紀に覆われている。貴石、金、ベースメタル等はプレカンブリアンの岩石に胚胎している。若い岩石には石炭、漂砂ダイヤモンド、重砂鉱物などの工業鉱物を胚胎している。



モザンビーク地質概略図（JMEC 内部資料）

7-2. 鉱床

金生産の中心は、ジンバブエとの国境附近の Mutare-Manica グリーンストーン帯と Nyasa 湖附近の Niassa Probince 北西部である。特に Mutare-Manica グリーンストーン帯における金生産の歴史は長く、Monarch 鉱山その他、地区全体に亘って第四紀中に堆積性の金が存在し、合法、非合法的な採取が行われて来ている。政府が掌握している合法的な採取量は、約 400kg/年となっている。

モザンビークのグリーンストーン帯は、金の生産が行われているジンバブエやタンザニアと同一条件視されており、他国同様に、将来は 5～10t/年の金生産が期待されている。

8. 鉱山概要

金生産の中心は、ジンバブエとの国境附近の Mutare-Manica グリーンストーン帯と Nyasa 湖附近の Niassa Probince 北西部である。特に Mutare-Manica グリーンストーン帯における金生産の歴史は長く、Monarch 鉱山その他、地区全体に亘って第四紀中に堆積性の金が存在し、合法、非合法的な採取が行われて来ている。政府が掌握している合法的な採取量は、約 400kg/年となっている。

モザンビークのグリーンストーン帯は、金の生産が行われているジンバブエやタンザニアと同一条件視されており、他国同様に、将来は 5～10t/年の金生産が期待されている。

9. 新規鉱山開発状況

Kenmare Resources 社(アイルランド)は、モザンビークの Moma チタン鉱山プロジェクトの建設を開始した。建設には 450 百万 US ドルで 2 年間かかる見込み。生産開始されれば、年産 65 万 t のチタン鉱物を生産する見込みであり、その約 50%の販売契約は既に締結されている。本プロジェクトは、モザンビークの北東沿岸に位置する重金属砂鉱床で、確定及び推定の可採資源量は、重金属品位 4.7%(チタン鉄鉱品位 3.5%を含む)で鉱石 407 百万 t、チタン鉄鉱で 16.4 百万 t となっている。(JOGMEC ニュースフラッシュ 2004/10/27)

10. 探査状況

BHP は排他的広域探査を Niassa、Nampula、Cabo Delgado 州でおこなった。

Cabo Delgado 州の Meluco 地区で地化学探査と物理探査なされている。ザンビアおよびマラウイ国境近くの Tete 州ではベースメタルのポテンシャルが評価されている。Chidwe と Massamba の銅鉱床は過去に地質調査なされている。

11. 製錬所概要

該当なし

12. 我が国のこれまでの鉱業関係プロジェクト実施状況

該当なし

資料

Mbendi : <http://www.mbendi.co.za>

LEX AFRICA : <http://www.lexafrica.com>

USGS: Mineral Industry of Mozambique